

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

今治造船株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市幸崎能地2丁目1-1

(3) 業種

3131 船舶製造修理業

(4) 事業所位置図
別紙1のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和5年度から令和9年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本方針

今治造船株式会社広島工場は船造りを通じ、事業活動・製品・サービスに関して地球環境との調和を経営の最優先課題の一つとして取り組み社会に貢献する。

2. 行動指針

- (1) 環境上の課題を継続的に改善するために、環境目的及び目標を具体的に定め定期的に見直しを行い、達成するための実施計画を構築、運用する。
- (2) 環境にかかわる法規制、条例及び同意するその他の要求事項を順守するとともに必要に応じて自主基準を定め運用する。
- (3) 事業活動の各領域において、省資源・省エネの推進・廃棄物の削減及び汚染防止を優先的に取り組み、環境保全の向上に努める。
- (4) 社内に「環境委員会」を設置し、環境保全に関する役割と責任を明確にするとともにこの方針を協力会社を含む全従業員に周知させ、理解と協力を要請する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成30 (2018) 年度	令和4 (2022) 年度
二酸化炭素	43,455	22,052

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 (30) 年度	令和 (4) 年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)		削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：溶接用ワイヤー量(t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (t)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30 (2018) 年度)				目標年度 (令和9 (2027) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	43,455	1,909	22.76	45.7	21,000	1,700	12.35
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	43,455	1,909	22.76	45.7	21,000	1,700	12.35
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	8.38	33.2	-	-	5.60
目標設定の考え方	CO2排出量/溶接用ワイヤー量(仕事量)にて、原単位ベース 年1%を削減目標とする						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	トッランナー変圧器への更新	290 t-CO2/年	3φ500KVA 1台 年間5 tのCO2削減計58台
2	水銀灯をLEDに更新	200 t-CO2/年	全3,000灯交換 現在、2,100灯交換済
3	ドック排水ポンプのインバーター化	30 t-CO2/年	更新時にインバーター化
4	コンプレッサの全停	50t-CO2/年	連休、日曜日のコンプレッサ停止

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	—	—
2	—	—
3	—	—

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	リサイクル率の向上	リサイクル率10%向上	各所にリサイクル品改修BOX設置し、回収後分別処理実施
2	廃棄物排出量削減	分別回収100%	溶接ワイヤー用プラリール回収
3	ISO14001取組	—	定期的監視、見直し

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙2のとおり

(2) 実施状況の点検・評価

電気、ガス、工業用水、燃料、溶接ワイヤー、溶接CO2の使用量を集計し状況把握、評価を行い、問題点の見直しを行う。
毎年温室効果ガス削減計画の把握、評価を行い、問題点の見直しを行う。

(3) 計画書等の公表

本方針の開示を社外から要求された際には、配布もしくは公開する。

別紙1

今治造船株式会社 広島工場 全体配置図

縮尺 : 1/4000



